

事業分野

教育関係団体

団体名

公益社団法人 川崎市幼稚園協会

関心のある 15のAction



これまでの取組活動

公益社団法人川崎市幼稚園協会は、昭和30年2月設立の、市内の私立幼稚園及び認定こども園の全84園が加入する法人で、幼児教育の研究及び幼児教育を担う私立幼稚園の振興並びに家庭教育の支援を図り、幼児の人格形成の育成に寄与することを目的としています。

とりわけ、平成15年に公立幼稚園が廃止されて以降は川崎市の幼児教育を一手に担っており、継続的な研究会・研修会、新任教職員研修会、夏期宿泊研修会などの企画・運営、障がいなど特別な支援を要する児童の教育を研究するために専門家からの助言、指導等を通じて実践に繋げるなど教員の資質向上に努めています。また、特別支援の助言を必要とする保護者のために幼児教育相談室の開設、未就園児の子育て家庭を含めた子育て支援事業として年6回、市内各所で子育てセミナーも開催しています。

現在、加盟園の95%以上の園において預かり保育を実施し、共働き家庭の幼児の就園へも対応するなど、各園では建学の精神を堅持しながら皆さんに選んでいただける幼稚園・認定こども園を目指しています。

市制100周年に向けた取組アイデア

- ① 希望する園の園庭や市立小学校に市制100周年記念植樹をする。
- ② 「未来の住みたい川崎市」のような題材で希望園の年長児や小学生に絵を描いてもらい各地区商業施設へ展示(ルフロンとか)をする。
- ③ ②の絵画を南武線や市営バスを使いギャラリー展示をする。

このほか、必ずしも100周年に限らないですが、今後の都市像のこどものイメージを大人として受け止めるため、例えば市長が幼稚園児と触れ合う場を作り、園児に好きな場所やお店など、答えやすいことを尋ね、好きな理由、それがどうなったらもっと好きになるか、また、自分が住んでいる所の周りが何色になったら、どんな匂いがしたら嬉しいか、それはどうして等々、ポジティブな質問でイメージを受け止めて、こどもの純真な感覚を大切にしまちづくりの機会、手法の創設などがあるとよいですね。

実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

幼児教育は人格形成の礎となる重要なもので、皆さんもよくご存じの「あの人」や「この人」も川崎市内の幼稚園の卒園児です。

これからの100年も、重要な幼児教育をいかに充実させていくか、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。